

梯きざはし

きざはし【階】〈梯〉はしご段。地域の皆様と健康生活へのかけはし。



地方独立行政法人

那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111 (代表)
TEL 098-887-1199 (急病センター)

<http://www.nch.naha.okinawa.jp/>



那覇市立病院開設30周年記念式典 第2回地域医療連携交流会

那覇市立病院

理念「和と奉仕」

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するように努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院をめざします。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

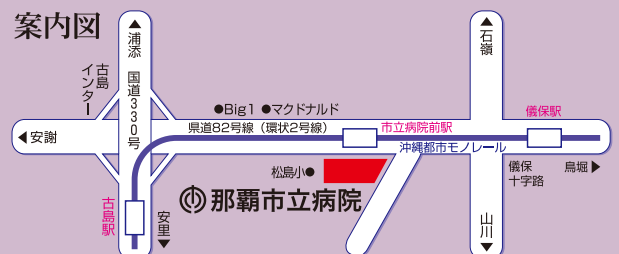
「患者の権利」

- 一、誰でも、人権が尊重され平等に良質な医療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分で病院や診療方法を選ぶ権利をもっている。
- 一、誰でも、十分な説明のもとに診療を受ける権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の治療上のプライバシーが尊重される権利をもっている。
- 一、誰でも、自分の診療記録の開示を求める権利をもっている。

CONTENTS

那覇市立病院開設30周年記念式典	2
那覇市立病院開設30周年記念式典を終えて	4
地域医療支援病院として承認されました	5
入院準備センター運用開始しました	6
ストーマ外来を開設しました	7
出産体験記	8
アフターファイブ活動期	9
「がんフォーラム～ご存知ですか？聴いて得するがんの知識～」	10
第2回 乳がん塾が開催されました	11
沖縄県5大がん地域連携クリティカルパスをご存知ですか？	12
献立紹介/ふれあいポスト	13
第2回 地域医療連携交流会	14

案内図



那覇市立病院 開設30周年記念式典

平成22年10月7日(木)にロワジールホテル&スパタワー那覇において那覇市立病院開設30周年記念式典が行われました。

当日は地域医療連携交流会も併せて開催され、700人を超える方々に出席を頂き盛大に式典が開催されました。

歴代院長をはじめ病院功労者を表彰し、日頃病院運営にご協力頂いている団体・企業に感謝状を授与した後、翁長雄志那覇市長・金城徹那覇市議会議員からの祝辞、真栄田篤彦那覇市医師会会長の音頭で乾杯が行われました。

祝賀会では30年分の思い出写真も登場し、市立病院の先輩方も昔話に花を咲かせ大いに盛り上がりました。



日頃お世話になっている関係各機関よりたくさんのお花を頂きました。



功労者賞授与(14名) 感謝状授与(4名)を行いました。



司会の看護部:新垣千春さん 祝辞を述べる 翁長雄志那覇市長 金城徹那覇市議会議員
表彰者代表挨拶の内間荘六 前那覇市立病院院長 (左より)



真栄田篤彦那覇市医師会会長の挨拶の後、高らかに『乾杯』。かぎやで風も披露されました。(左より)



與儀院長と翁長那覇市長



表彰者の皆さんの表情



賑わいを見せる会場の風景 ①



賑わいを見せる会場の風景 ②



表彰前のリラックスした表情 ①



表彰前のリラックスした表情 ②



ナレーションを担当した3人の表情



会場で一番湧いた過去の写真映像

那覇市立病院 開設30周年記念式典を終えて



総務課 中田 光信

本院開設30周年、時は、過ぎてしまえば短いようでもいろいろあるものです。

開設10周年は、院内講堂で祝賀会や行事を行い、記念誌の発行もしました。記念誌を見ると、そのころの牧歌的な意気が伝わります。開設20周年は、経営危機の意識が高く式典や記念誌発行を見送りました。当時の職員と管理職のがんばりで経営安定の時代を迎えます。

国の医療政策の変更により経営が旧態依然では持たないとの判断で地方独立行政法人となり、職員数を増やしながらかつて開院以来最高の黒字を昨年度は、出しました。これは琉大医学部、那覇市医師会、地域の医療機関や行政関係者の支援があつて達成できたものであります。

院長より本院開設30周年記念式典について効率的にやっていくために第2回地域医療連携交流会とともに行つてはどうかという話が出ました。主な事業として30周年記念式典を取り上げ大きな学会のない日ということで10月7日に日時が決まり、できるだけ広い会場とのことでロワジュールに場所が確定しました。

7月には、開設30周年を迎え輝かしい将来を祝福し、希望にみちた歩みを踏み出す機会とするとともに、本院の発展に寄与された方々及び地域医療機関関係者に深く感謝の意を表することを目的に、那覇市立病院開設30周年記念事業実行委員会を設置し、記念式典・地域医療交流・記念誌等を実施する事を決定しました。

8月には記念式典招待及び参加者案決定。9月にはプログラム決定しました。それまでに、地域医療連携室や事務局で検討事項つぶしや確認、名簿作り等大変パタパタしました。

頭を悩ましたのが、全体の参加者が何人になるかとの事でありました。歴代管理職・医局・看護部・医療技術者・事務局等のそれぞれの関係者及びOBや市長・議長・消防・市県行政関係者、外部委員等の本院関係者及び地域連携交流会の出席見込みを加えて外部参加者見込数合計407名。職員参加者見込数400名 計807名。会場に入りきれるか。料理、飲物は足りるか等。実際の参加者約800人となり料理も飲物も十分足りました。

会が始まってからのアクシデントもいくつかありました。会が進みどんどん招待者参加者が集まり、会場は、ぎっしり。マスメディア対応に呼ばれ前方より受付に向かっている時に会場の中ごろで振向いたお客さんの手にワイングラスが。私の背広に赤ワインがかかってしまいました。「すみません。大丈夫ですか。」「大丈夫ですよ。」こんなに多く来ていただいたお客さんですから、私は、笑顔で答えました。取材対応がすんだ後、背広を水洗いしワイシャツ姿でホテル等との対応をいたしました。

最後のアクシデント、ホテルより「時間が大幅に過ぎています。」と司会より閉会を告げても皆さん飲んで食べて交流に励んでいます。照明が薄暗くなつても皆さん帰りません。「ホテルの光」を流せば時間が分かるからとアドバイスあり。しかし、会場に「ホテルの光」は、用意されていません。職員がマイクで「ホテルの光」のハミングしてくれ、どうにか無事に会が終わりました。

乾杯の音頭をしていただいた真栄田篤彦様はじめ感謝状を贈らせていただいた那覇市医師会様、琉大小児科様、金城様、興南設備の皆様ありがとうございました。時がすぎれば、苦労もアクシデントも良い思い出です。時は、過ぎてしまえばいろいろあつても短いものです。

参加者の皆さん楽しいひと時をありがとうございました。



地域医療支援病院として 承認されました。

沖縄県指令福第 2113 号

那覇市古島2丁目31番地1
地方独立行政法人那覇市立病院
理事長 興備 實津夫

地域医療支援病院の名称承認について

平成22年4月16日付けで申請のあった地域医療支援病院の名称の承認
について、医療法(昭和23年法律205号)第4条第1項の規定により承認し
ます。

平成22年10月12日

沖縄県知事 仲井眞 弘多



記

名 称 地方独立行政法人 那覇市立病院

所 在 地 那覇市古島2丁目31番地1

平成22年10月12日に、当院が県内7番目の『地域医療支援病院』として沖縄県知事より承認を受けました。

急性期病院として専門的な医療及び救急医療を行い、更に地域の医療機関と連携して『地域完結型医療』を目指し、患者さんへよりよい医療を提供すべく取り組んできました。

こうして『地域医療支援病院』の承認を頂いたのも日頃ご協力頂いている関係者の皆様のおかげと感謝しています。

以前より登録医制度を導入し、さらにその他の各医療機関からもご協力を頂きながら紹介患者さんの受入れを行い、比較的病状の安定した患者さんは各医療機関へ逆紹介をさせて頂いています。

これからも各医療機関の皆様、そして患者さんが安心して当院を利用して頂けるよう努力を続けてまいります。

地域医療連携室

入院準備センターを開設しました

Pre-hospitalization Center = P.C.

手術を決定した患者さんに対して、これまで各科外来で行われていた「手術前検査」「パスによる手術の説明」「入院生活の説明・入院の案内」などを中央化した1室(入院準備センター)で専任のスタッフ(看護師・事務作業補助者・受付事務)が行います。患者満足や医療職、事務職の役割分担の推進などが目的になっています。

現在の対象疾患

整形外科：脊椎疾患・膝関節疾患
外科：乳がん

～他の対象疾患についても準備を進めております～



各科外来受診
手術・検査決定



入院準備センター利用



ゆっくりお話しができます。
わからないことは何でも聞き下さい。

＜当センターで行うこと＞

入院までのスケジュールを患者さんのご都合も踏まえながら組み立てていきます。

- ★術前検査
- ★検査の説明と案内
- ★病歴聴取
- ★他科受診・次回検査日の決定
- ★術前検査結果説明の日程調整
- ★麻酔科術前カルテ診察
- ★入院生活についての説明
- ★現在飲んでいる薬の鑑別
- ★入院手続きの説明(医療費の相談)等

かかりつけ医療
機関へ通院



退院



手術



入院



！地域の医療機関(かかりつけ医)の先生方へお願い！

スムーズに患者さんの手術や検査の日程が組めるようご協力をお願いします。

★患者さんの病状によっては、当院の専門科へ受診が必要となりますので、手術や検査希望でご紹介の際は、診療内容に加え既往歴・内服薬・検査データなどの記載・添付をお願いします。

★当院以外で処方されている内服薬に関して

入院中はご持参の上、内服していただきますので処方の際は入院期間分を含めた処方へのご配慮をお願いします。

お問い合わせ

那覇市立病院 入院準備センター(P.C.) 1階フロア⑦番
TEL098-884-5111(内線398)

担当者:仲真 藤子

ストーマ外来を開設しました



皮膚・排泄ケア認定看護師 吉村麻由子

那覇市立病院では、今年7月よりストーマ外来を開設し診療を始めています。

ストーマとは

「ストーマ」というと聞き慣れない言葉かもしれませんが「人工肛門」や「人工膀胱」なら耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

私たちは普段、便は肛門から、尿は尿道から排泄しています。

しかし腸管や尿路の疾患により手術で排泄経路を変更しなくてはならないことがあります。この時おなかにつくられる排泄口をストーマ(人工肛門、人工膀胱)といいます。

ストーマの管理方法

ストーマからは絶えず尿や便が排泄されるため、それを受けとめるために専用の袋をお腹に貼ります。袋がいっぱいになった時は排泄物をトイレに流します。きれいに管理ができていれば臭いの心配はほとんどありません。



ストーマ外来の役割

ストーマ周囲の皮膚は便や尿によってかぶれやすい状況にあります。皮膚がかぶれず、便や尿が漏れない管理方法を、ストーマ外来で指導しています。また、一度ストーマ管理の方法を習得した方であっても、ストーマやおなかの状況は日々変化しています。その時に最も合う袋を検討しご紹介いたします。その他、日常生活の中でストーマに関する困ったことがありましたら一緒に解決策を考えていきますのでご相談ください。

「何も問題がない」という場合でも、ストーマの健康診断として定期受診をお勧めしています。

ストーマ外来の担当看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師の吉村が担当いたします。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、ストーマケアに関する専門的な知識と技術を習得しています。その他に褥瘡(とこずれ)や傷のケア、失禁ケアなどを専門としている看護師です。

ストーマ外来

日時:毎週水曜日 9時~14時(1日5名まで)

場所:那覇市立病院1階17番皮膚科外来

担当:皮膚・排泄ケア認定看護師 吉村麻由子

- ・ストーマ外来受診には医師の指示が必用です。
- ・まずは主治医にご相談の上、ストーマ外来の予約を入れてもらいましょう。
- ・診察枠にあきがあれば当日受付も可能ですが、予約の方が優先となります。
- ・当日受付の際もまずは医師の診察を受け、当日予約を入れてもらいましょう。
- ・器具交換を行いますので**普段使用している器具を1枚ご持参ください。**

問い合わせ先 098-884-5111(内線8661)



出産体験記



藤井 浩輔・小羊さん夫妻



2010年9月21日、
私たち夫婦の9
回目の結婚記念
日前日に娘が誕
生いたしました。

待ち望んでいたわが子は、予定より5週間早く、
1,682gと小さいながらも元気いっぱい、それはそ
れは可愛い産声を上げました。

藤井 天(てん)

妊娠中つわりも軽く経過も順調だった私は32週に入り、妊娠高血圧症候群という診断を受けて那覇市立病院へ転院となっても事の重大性に気付かず楽観的に構えていました。34週に入り、胎動の弱さと左手のわずかなしびれを感じ念のためと救急外来を受診したところ、胎児の動きが悪いとの事で管理入院、今だったら元気なうちに赤ちゃんを出してあげることが出来るとの先生の手話により出産方法（誘発分娩か帝王切開か）を検討していたところ、突然の破水と心音の低下、急遽帝王切開にて出産という何もかもがあっという間の出来事でした。

幸い娘は推定体重よりも小さかったもののNICUのスタッフの皆様大切に育てていただき体重も順調に増えて、お腹がすいたと大きな声で泣き叫ぶ元気な赤ちゃんに成長しました。私は産後に妊娠高血圧症候群の合併症である肺水腫が悪化。全身の水分コントロールが上手くいかず浮腫も酷くなり血圧も下がらないという状態で、果てには大量出血にてICUに搬送されるという思いもよらない状況となりましたが、主治医の先生をはじめとするスタッフの方々のお力で何とか回復することが出来ました。丁寧な治療説明と迅速な対応、温かい看護のお陰で娘と私は命を守られたのだと感謝しています。

又、体調が悪く娘に会いに行くことも出来ずにいた時に娘の写真を撮ってきて下さったり、保育器から出たばかりの娘をICUまで連れてきていただいたこと、私の身体の事だけでなく気持ちも気遣い、時には一緒に涙を流して下さった方々、この出産は娘誕生の喜びだけでなく多くの痛みと涙を伴いましたが、同時に人の優しさや暖かさに触れる良い機会となりました。又、娘の所と私の所を行ったり来たりと忙しかった主人ですが、私の所に来ては娘がどれだけ可愛いかを熱く語り、娘の所ではお母さん早く来れるといいねと話しかけながらミルクをあげたりオムツを替えたり父親業を学びつつ家族を繋いでくれました。

これから、家族3人で歩んでいきます。与えられたいのち、守られたいのちを大切に日々過ごして生きたいと思います。

スタッフの皆様、本当に有り難うございました。





監督に選ばれし精鋭たち

総務課 照屋 努

日頃はエアコンの中、しかもイスに座っての仕事が中心で運動不足の事務職員を中心に沖縄の夏の伝統行事「**ハーリー**」に出場しました。出場するレースは「**那覇ハーリー**」か「**万座ハーリー**」のどちらに出場か迷っていましたが、必要人数も12人と比較的参加しやすい「**万座ハーリー**」に決定しました。

参加が決定して精鋭たちを精査したところ、初めてサバニに乗船する精鋭が多数いることが判明。ぶっつけ本番では沈没する可能性が高いため、転覆を回避するために事前に大会が開催される会場で練習することになりました。練習では、プロの舵取りがおらず右往左往し練習していたクラブチームの進行を妨害するだけでなく、波を受けて転覆する寸前まで水が入り込む状況でした。

練習の一週間後、ついに本番です。当日は、練習した日より風が強く波が高い。消防職員等の屈強な肉体のメンバーで構成されたチームの船でさえ転覆する状況に、チームメンバーは意気消沈。転覆しないことを目標にスタートラインに立ち、出艇。スタートダッシュに成功し、折り返し地点まで僅差の4チーム中2位。折り返し地点で横波をうけて、大きく傾きスピードダウン。折り返し後もスタミナ不足で1位を捉えることができなく、2位でゴール。精鋭たちは無事にレースを終えたことと、以外に好タイム(96チーム中21位)での完走に大満足。早くも来年の話があがっております。どこかの「ハーリー一会場」で当院のチームを見かけましたら、応援宜しくお願いします。



無事にゴールした瞬間

がんフォーラム～ご存知ですか？聴いて得するがんの知識～

平成22年9月4日(土)那覇市立病院3階講堂において、地域の医療従事者を対象に、がんフォーラムが開催されました。当日は台風による悪天候にも関わらず、多くの皆さんが熱心に参加されました。

フォーラムの目的は、地域がん診療連携拠点病院の役割・機能として、がんに関する情報及び知識などを有効に一般市民、医療従事者に提供することです。

今回は、「こころのケア」に関して、品川博二氏(NPO法人日本ケア・カウンセリング協会代表理事/臨床心理士)を講師に招き、「ターミナル・ケアへのナラティブ・アプローチ～スピリチュアル・ペインとケア・カウンセリング～」について講演と実技演習を行いました。

主な講演内容は、①ナラティブ・アプローチとは、②スピリチュアル・ペインとは、③ケア・カウンセリングの概念についてです。

実技演習では、認知行動療法とナラティブ・アプローチのコラボとしての行動形成法について、「がん患者さんのストレス・コーピング」を目的とした集団心理療法を体験しました。

講演の中で品川氏は、スピリチュアル・ペインとは、「相手の痛みを」自分の痛みとして、切なく体験されること、「他者の痛みを」をその患者に問いかけることがスピリチュアル・ペインの臨床的意義なのである、と述べました。



台風の雨風が強くなる中、熱心な参加者



たとえ話が多く、とても分かり易い講義でした



ロールプレイを初めて体験してドキドキ



テーマは「処分できない紙袋を見つけて」

平成22年度

第2回 乳がん塾が開催されました

「乳がんの放射線治療～術後放射線治療から骨転移のがん性疼痛緩和まで」

外科外来 プレストチーム

平成22年8月28日(土)那覇市立病院3階講堂において、患者さんご家族、一般市民を対象に、乳がん塾が開催されました。

今回は、当院で放射線治療を担当している足立源樹医師(放射線治療専門医・放射線腫瘍学会認定医)が、乳がん治療における放射線治療についてお話をしました。

当日は、多くの方が参加され、放射線治療の基本的な知識を学ぶとともに、実際に放射線治療装置の見学も行いました。



講師と運営スタッフのみなさん



足立源樹医師の分かりやすい講義



質問に答える外科の宮国孝男医師



天井に付きそうなくらい背が高い装置です



どの方向からどのくらいあてるかが重要です



山内看護師に見守られて傾く装置



沖縄県5大がん 地域連携クリティカルパスを ご存知ですか？

平成22年4月より運用開始しています！

沖縄県がん地域連携クリティカルパスは、患者さんに安心・安全で質の高い医療を提供するため、かかりつけ医（一般病院、診療所）と専門医（がん診療連携拠点病院、専門病院）、看護師、薬剤師等が患者さんの診療計画、検査結果、治療経過を共有するためのツールとして活用されることを目的としています。

医療者用



- “沖縄県がん地域連携クリティカルパス” 運用の手引き
- 患者基本情報
- 診療計画表
- 診療経過表



患者さん用



- 私のカルテ
 1. 地域医療クリティカルパス適応の同意書
 2. わたしの情報
 3. あなたを支える地域連携クリティカルパスのご案内
 4. 自己チェックシート
 5. 診療計画表 等綴じられています。

*患者保管用として、必要に応じて診療経過表の写しを交付することも可能です。

	専門医 がん診療連携拠点病院 専門病院	かかりつけ医 (一般病院・診療所)	患者
診療計画表	作成 ① 原本を患者へ交付 ② 写しを診療所へ送付	写しを保管 →専門医から送付された写しを保管	原本を保管 →専門医から交付された原本を保管
診療経過表	作成 ① 原本を診療所へ送付 ② 写しを必要に応じて患者へ交付	原本を保管 ① 患者の診察時に診察・検査結果を記入 ② 患者の外来受診時に専門医へ送付 ③ 連携パスの運用終了時に専門医へ送付	必要に応じて写しを保管 →必要に応じて専門医又診療所から交付された写しを保管

平成22年4月の診療報酬改訂にて、かかりつけ医療機関でがん治療連携指導料(300点)が算定できるようになりました！

がんパスについてのご質問やかかりつけ医療機関の応募方法・診療報酬についてなど、ご遠慮なく下記へお問い合わせ下さい。

沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会事務局
TEL 098-895-1369 FAX 098-895-1497

那覇市立病院 地域医療連携室 担当 外間尚美
TEL 098-884-5134 FAX 098-886-5502

献立紹介



★旬の秋魚★

■さんまの塩焼き

脂ののった青魚の美味しい季節になりました。シンプルな料理方法は、その素材を十分に美味しく味わうことができます。塩焼きで食べるのが一番ですね。



サンマ



サバ



イワシ

去った8月に行事食として夏祭りをイメージした昼食を提供しました。

- ごはん
- やきとり(野菜炒め添え)
- 焼きとうもろこし
- 一口冷やしそうめん
- あまがし



さんまの塩焼き

野菜炒め



ふれあいポスト

ご意見

入院中に先生が出て下さるお薬について説明を受けますが、副作用等も気になります。入院時においても薬の内容が書かれた控えを患者本人用として出して欲しい。

回答

当院では入院中に処方される薬について、その都度医師から口頭で説明があります。現段階において、入院中の説明書等の発行はしておりません。もし副作用等が気になりましたら、ご遠慮なく主治医へ声を掛けて頂ければと思います。もし控えとして説明書が必要な際は薬剤室より準備することも可能ですので、担当看護師や近くにいるスタッフに声をかけて下さい。入院中の患者さんあるいはご家族にありましては、薬の説明書が必要またはあれば安心という事に気付かされ、とても参考になりました。貴重なご意見、誠にありがとうございました。

ご意見

私は83歳で内科のお世話になっているものです。常日頃気になっていることだったので意見を提案させていただきます。それは「高齢者マーク(紅葉マーク)」の車で来院した場合「近い場所」に駐車させて欲しいと言うことです。来院する人々は「病人」で、しかも「高齢」です。ご一考頂きたいものです。

回答

現在、外来駐車場の数と利用状況から見て、直ちに高齢者専用駐車スペースを設けることは困難で、今後外来駐車場の状況を考慮し、高齢者専用スペースを設けるかどうか検討しています。誠に申し訳ございませんが、対応が遅れることをご理解頂ければと思います。もし体調が悪かったり、歩行が困難であれば近くの警備員へ声をかけて下さい。玄関近くの臨時駐車場へ誘導させていただきます。また、当院の駐車場は慢性的渋滞が発生しており、患者さん並びにご家族にはご迷惑をおかけしております。駐車場へ入るまで、30分以上お待ちいただくこともあります。今後渋滞解消の対策を考えていきますのでご協力をお願いいたします。貴重なご意見ありがとうございました。

ふれあいポストとは

当院では、院内各所にふれあいポストを設置することにより、病院を利用される方々から病院に対する意見・希望・苦情等を収集し、患者満足度調査アンケートにもご協力頂いております。これを基に当院では患者サービスの向上に役立てます。

第2回 地域医療連携交流会

病院開設30周年記念式典に引き続き、第2回地域医療連携交流会を開催しました。前年も参加頂いた医療機関の方々、今回初参加の医療機関の方々約320人（交流会部分のみ）の皆様の参加で会場は大いに賑わいました。

当院連携室より連携状況報告を行い、きなクリニック喜納美津男院長より連携状況の報告、登録医挨拶としておおみじゃ眼科:大見謝恒人院長、あかみねクリニック:赤嶺弘院長、首里内科クリニック:金城盛男院長よりお話を頂きました。また、職員構成のバンド『かりーオールスターズ』が交流会仕様の『かりー三線スターズ』として登場し、軽快な音楽で会場を沸かせてくれました。

その後当院各診療科より挨拶を行い、最後は当院登録医でもある新田クリニック:新田院長も所属するジャズバンド『MJO』（メディカル・ジャズ・オーケストラ）の皆さんが演奏で盛り上げ盛況の中閉会となりました。

これを機会に当院を含めた近隣医療機関同士の連携が今後さらに深まる事を期待します。



司会 喜屋武幸男
那覇市立病院医師会長

登録医報告



きなクリニック
喜納 美津男院長

登録医挨拶



あかみねクリニック
赤嶺 弘院長

登録医挨拶



首里内科クリニック
金城 盛男院長

登録医挨拶



おおみじゃ眼科
大見謝 恒人院長

診療科紹介



開会の挨拶
照喜名副院長



連携報告
新垣委員長 外間師長

診療部紹介
久高副院長



内科
新垣部長



整形外科
玉城部長



耳鼻咽喉科
神谷部長



産婦人科
渡嘉敷部長



歯科口腔外科
津波古医長 立津医師 仲宗根部長



精神科
嘉手納医師

屋宜部長



眼科
與那原医師 今泉部長



外科
大城部長



小児科
屋良部長



脳神経外科
百次部長



皮膚科
新嘉喜医師



泌尿器科
呉屋部長



放射線科
又吉部長



健診センター
島袋部長



放射線科 交流風景



内科 交流風景



かりー三線スターズの演奏



産婦人科 交流風景



外科 交流風景



脳神経外科 交流風景



MJOの演奏



看護部紹介
中森副院長



閉会の挨拶
島袋副院長



受付係のスタッフ



小児科 交流風景



地域医療連携室のスタッフ



外科 小児科 交流風景



脳神経外科 交流風景



内科 交流風景



耳鼻咽喉科 交流風景



外来担当医師表

地方独立行政法人

那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111(代)

科名	診療	月	火	水	木	金	受付時間・特殊外来等		
内科	総合初診	旭 朝弘	喜屋武 幸男	仲地 紀哉	照喜名 重一	豊見山 良作	※総合初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。 【肝臓専門外来】 毎週月・木曜日 8:45~11:00 担当医：宮里 賢 【循環器専門外来】 毎週水曜日 13:00~16:00 担当医：崎原 永啓 毎週金曜日 8:45~11:00 担当医：旭 朝弘 【神経専門外来】 毎週木曜日 8:45~11:00 担当医：小林 奏 【禁煙外来】 毎週木曜日 13:00~16:00 担当医：照喜名 重一 【予約再来における主な担当分野】 呼吸器：喜屋武・知花・照喜名 消化器：島尻・仲地・豊見山・宮里・金城 循環器：崎原・田端・比嘉・旭・眞志取 腎臓・透析・膠原病：宮良・糸数 血液：新垣・内原 糖尿病・内分泌：豊見永・平良 神経：小林 ※火曜日の神経内科は予約の患者さんのみの受付になります。 ■は紹介状持参の患者さんのみの受付になります。 ※同一診察室で午前、午後の担当医が異なる場合は原則として午後1時をその区切りとします。 【乳児検診】月・木・金 (受付時間) 12:30~13:00 (診察時間) 13:00~14:00 【予防接種】月・木・金 (受付時間) 14:00~16:00 (診察時間) 14:00~16:00 ★ 予防接種は1日7名までの受付となります。(要予約) 【小児神経外来】 水曜日午後のみ。(予約制) (第1・3・5:城間 直秀) (第2・4:嶺間 博隆) 【発達・知能検査】 火曜日午後のみ。(予約制) ■印は、予約・紹介状のある患者さんのみの受付となります。 ※ 診療受付時間 午前は11時まで・午後は16時までとなっています。		
		座間味 亮	喜瀬 高庸	城間 裕子	宮里 賢	内原 潤之介			
		金城 謙	照喜名 重一	今井 雅弘	喜瀬 高庸	佐渡山 伸子			
		再来	一診	知花 なおみ	小林 奏			■神経外来	喜屋武 幸男
			二診	眞志取 多美	糸数 昌悦	崎原 永啓		島尻 博人	崎原 永啓
			三診	崎原 永啓	平良 剛	新垣 均		平良 剛	仲地 紀哉
	五診		宮里 賢	内原 潤之介	豊見永 辰美	田端 一彦		照喜名 重一	
	総合初診	比嘉 南夫	新垣 均	照喜名 重一	眞志取 多美	比嘉 南夫			
		上間 貴仁	今井 雅弘	馬淵 仁志	座間味 亮	馬淵 仁志			
		照喜名 重一	佐渡山 伸子			上間 貴仁			
		再来	一診	喜屋武 幸男	知花 なおみ	島尻 博人		新垣 均	
			二診	豊見山 良作	■循環器外来	糸数 昌悦		崎原 永啓	
三診			平良 剛	宮良 忠	旭 朝弘	金城 謙	仲地 紀哉		
五診	田端 一彦		照喜名 重一	田端 一彦	禁煙外来	照喜名 重一			
六診	内原 潤之介	崎原 永啓	平良 剛		豊見永 辰美				
小児科	午前	一診	知念 正夫	屋良 朝雄	伊波 徹	渡久地 鈴香	知念 正夫		
		二診	渡久地 鈴香	上原 朋子	神谷 素子	桃原 由二	渡久地 鈴香		
		三診	今給黎 亮	古波蔵 都秋	上原 朋子	古波蔵 都秋	今給黎 亮		
	一般診療	神谷 素子	知念 正夫	■知念・古波蔵	屋良 朝雄	屋良 朝雄			
		上原 朋子	桃原 由二		今給黎 亮	桃原 由二			
		乳健・予防接種	屋良 朝雄		上原 朋子	神谷 素子			
	午後	特診	【遺伝相談】	【発達外来】	【内分】	【心エコー】	【循環器】		
			成富 研二	神谷 素子	渡久地 鈴香	城間 直秀	伊波 徹		
			【心エコー】	伊波 徹	嶺間 博隆	【在宅外来】	神谷 素子		
			伊波 徹	【発達・知能検査】	田川 友紀子				
	外科	午前	宮里 浩	山城 和也	久高 弘志	久高 弘志	永吉 盛司		
			初診:消化器G	初診担当医	宮里 浩	友利 寛文	宮国 孝男		
小野 亮子			初診:消化器G						
午後		大城 健誠	比嘉 宇郎	上原 忠司	久高 弘志	大城 健誠			
		初診:消化器G	山里 将仁	■宮国 孝男	山城 和也	初診:消化器G			
		(初診は消化器Gにて対応)	友利 寛文		山里 将仁	▲山城 聡			
		■宮国 孝男	第2・4火曜日 緩和ケア外来		(初診は消化器Gにて対応)				
整形外科	午前	初診	仲宗根 朝洋	大城 互	紹介状持参の方のみ・屋良	玉城 一	紹介状持参の方のみ・外間		
		再来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一	大城 互	仲宗根 朝洋		
	午後	初診	勢理客 久	山川 慶	岳原 吾一	吳屋 五十八	勢理客 久		
		再来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一 岳原 吾一	大城 互	仲宗根 朝洋		
産婦人科	午前	永山(産科)	池宮城(産科)	渡嘉敷(産科)	池宮城(産科)	沈(産科)			
	午後	當間(婦人科)	沈(婦人科)	池宮城(婦人科)	永山(婦人科)	當間(婦人科)			
脳神経外科	午前	島袋 洋	百次 仁	■島袋 洋	島袋 洋	百次 仁			
	午後	豊見山 直樹	石川 智司		豊見山 直樹	石川 智司			
皮膚科	午前	林 健太郎	新嘉喜 長	新嘉喜 長	林 健太郎	新嘉喜 長			
	午後	外来手術	林 健太郎	外来手術	林 健太郎	外来手術			
眼科	午前	今泉 綾子	新垣 里子	今泉 綾子	目取眞 市子	※與那原 理子 (未熟児診察)			
	午後	與那原 理子	(初診のみ・ 特殊検査・治療)	與那原 理子	目取眞 市子	特殊検査・治療のみ			
泌尿器科	午前	宮城 友香	山城 清治	吳屋 真人	山城 清治	吳屋 真人			
	午後	吳屋 真人	松村 英理	山城 清治	宮城 友香	宮城 友香			
耳鼻咽喉科	午前	神谷 義雅	比嘉 輝之	神谷 義雅	嘉数 光雄	嘉数 光雄			
	午後	*新濱 明彦	■嘉数 光雄	■比嘉 輝之	■神谷 義雅	■比嘉 輝之			
精神科	午前	小林 敬	屋宜 盛秀	*名古屋 和香	屋宜 盛秀	嘉手納 志乃			
	午後			*名古屋 和香					
放射線科	午前	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹			
	午後								
歯科口腔外科	一診	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	手術	仲宗根 康雄			
	二診	津波古 判	津波古 判	津波古 判	立津 政晴	津波古 判			
リハビリテーション科	午前								
	午後					外間 浩			
救急		濱田 賢治 ・ 寺田泰蔵 (但し、必要に応じて各専門診療科へつなぐ)					8:30~17:00		

*土・日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始は急病センターにて終日診療
 *手話通訳を希望される方は予約が必要となります。事前に医療福祉相談室にご連絡ください。医療福祉相談室(内線127)